

地域づくり活動 NPO 事業助成事業 実績報告

事業区分 (1-4)

団体名	兵庫県精神福祉家族会連合会	代表者名	(職名) 会長	(氏名) 新銀 輝子
事業名	令和5年度精神障害者保健福祉手帳による医療費助成制度セミナー			

< 事業実施実績 >

年月日 定例は「月1回」 「毎〇曜日」等 で記入	場所	参加者 一般(ｽﾀｯﾌ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
8月19日	神戸市立 総合福祉センター	63 (7)	精神障害者福祉手帳による医療費助成とは 講師：青木聖久（日本福祉大学教授）
11月11日	神戸市立 総合福祉センター	52 (6)	医療費助成の実施状況と生活の苦しさ 講師：青木聖久（日本福祉大学教授）
2月23日	神戸市立 総合福祉センター	35 (7)	三障害での医療費助成と今後の進め方 講師：青木聖久（日本福祉大学教授）

< 効果と成果 >

<p>リアル参加者は、家族会7割、当事者1割、福祉事業所関係者1.5割で議員が1名であった。</p> <p>ZOOM参加者は、家族会8か所、福祉事業所関係が5か所、保健所や福祉課の行政関係が5か所、病院関係が3か所、当事者7箇所であった。ZOOMにて保健所や福祉課の行政関係とともに、病院関係者、福祉事業所等からの参加が多かったこと、ZOOM一か所で10名程度の方々が参加して頂いている処もあり、会場開催のみでなくて、ZOOM開催することは会場参加することが出来ない方々に対しても、情報発信に大きな力を発揮できることが分かった。</p> <p>各市町在住の方々は、自分の市町の医療費の助成制度については理解しているが、他の市町について中々情報を理解していない。そのような情報も非常に少ない。</p> <p>今回のセミナーにより、兵庫県内の各市町において、更に、各県においても大きな不平等があり、改善活動が必要であることを理解して頂いた。</p>
--

< 今後の展望 >

<p>当事者や当事者の家族のみでなく、福祉事業所や病院関係者、議員の方や保健所・福祉課の行政の方々のZOOM参加者が多数おられたことから、このテーマについては、大きな関心があることを痛感した。</p> <p>今後、アンケート等により、ZOOM参加者からの意見を集めながら、今後の活動方針を決めていきたい。</p>
--

< 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	315,000
自己資金	11,026
合計	326,026

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接 経 費	講演者謝金	86,937	86,937
	チラシ, 資料印刷費等	68,150	68,150
	スタッフ謝金、交通費	64,880	64,860
	講演者交通費	53,720	53,720
	小 計	273,687	273,667
間接経費 (一般管理費)		52,339	41,333
合 計		326,026	315,000